



あま市長
むらかみこうじ
村上浩司

「一生涯、住み続けたいまち“あま”」の 実現に向けて

新市紹介 あま市 (愛知県)



数多くの文化財が残る「甚目寺観音」境内

あま市は、愛知県の西部に位置し、南東部は名古屋市と隣接しています。近郊農業を中心として発展してきましたが、近年では住宅や店舗、工場などの増加に伴い、田園風景と住宅地との調和がとれた緑豊かなまちを形成しています。市内には、寺社や史跡が散在するとともに、甚目寺観音での「節分会」や萱津神社での「香の物祭り」、蜂須賀蓮華寺での

歴史ロマンあふれる緑豊かなまち

本年3月22日に、七宝町、美和町、甚目寺町が合併し、新たに「あま市」が誕生しました。



加須市長
おほしりょういち
大橋良一

「水と緑と文化の調和した 元気都市づくり」にチャレンジ

新市紹介 かぞ 加須市 (埼玉県)

本年3月23日に、加須市、騎西町、北川辺町、大利根町が合併し、新「加須市」が誕生しました。

市街地と農村地域とが調和したまち

加須市は、関東平野のほぼ中央部、都心から50km圏に位置し、群馬県、栃木県および茨城県に接しています。市の中を流れる「坂東太郎」の異名をもつ利根川によって運ばれた土砂が堆積し、肥沃な土壌で形成された平坦地で、品質・生産量ともに埼玉県内一の米どころです。

毎年5月には全長1000mのジャンボこいのぼりの遊泳が行われ、童謡「たなばたさま」や全国の校歌など3000曲以上の作曲をした下總皖一や近代洋画の旗手である齋藤与里の出身地でもあります。

また、埼玉県の天然記念物に指定されている樹齢約400年の大藤がよく似合う騎西城や玉敷神社、東京ドーム700個分ほどの広さの渡良瀬遊水地、トマトやいちごなどの丹精込めた農作物がそろった道の駅など、古き良き歴史と伝統を残しながら都市機能が集積しており、市街地とその周辺に広がる農村地域との調和が特性となっています。

全国トップレベルの行政サービスを目指して

本市は、それぞれの地域が素晴らしい魅

新市プロフィール



- 人口 8万8085人
- 世帯数 3万3757世帯
- 面積 27.59km²
(以上、平成22年7月1日現在)

●特産品
水菜、ネギ、小松菜

●観光名所・旧跡
七宝焼アートヴィレッジ、蜂須賀蓮華寺、甚目寺観音

●行事・イベント
節分会(2月)、二十五菩薩来迎会(4月)、香の物祭り(8月)

本市は、今日までこの地域で築かれてきた歴史、文化、自然、伝統的産業などの魅力ある資源があり、また大都市である

市民主導型のまちづくり

「二十五菩薩来迎会」など伝統文化が数多く残されており、歴史のまちとしても知られています。また、全国屈指の産地である七宝焼をテーマにした「見て」「触れて」「学んで」「体験する」ことができる総合施設七宝焼アートヴィレッジには、尾張七宝の名品鑑賞・製作工程の見学・製作体験ができる「ふれあい伝承館」と、四季折々の草花に囲まれた散策路や憩いの広場など水と緑に親しむことができる「ふれあい広場」があり、市内外から多くの方にお越しいただいています。

「二十五菩薩来迎会」など伝統文化が数多く残されており、歴史のまちとしても知られています。また、全国屈指の産地である七宝焼をテーマにした「見て」「触れて」「学んで」「体験する」ことができる総合施設七宝焼アートヴィレッジには、尾張七宝の名品鑑賞・製作工程の見学・製作体験ができる「ふれあい伝承館」と、四季折々の草花に囲まれた散策路や憩いの広場など水と緑に親しむことができる「ふれあい広場」があり、市内外から多くの方にお越しいただいています。

新市プロフィール



- 人口 11万6051人
- 世帯数 4万1788世帯
- 面積 133.47km²
(平成22年7月1日現在)

●特産品
こいのぼり、手打うどん、いちじく、梨、コシヒカリ、トマト(木甘坊)、いちご

●観光名所・旧跡
浮野の里、騎西城、玉敷神社、渡良瀬遊水地、道の駅きたかわべ、道の駅童謡のふる里おとね

●行事・イベント
節分会(2月)、藤まつり(4~5月)、市民平和祭(5月)、オニバスフェスタ(8月)、市民まつり(10月)、こいのぼりマラソン大会(12月)

力に満ちており、無限の可能性を秘めています。私は、これらの地域資源を生かし、また、「加須」は「かぞ」であるということも全国の方に認知していただけるよう、市の将来都市像である「水と緑と文化の調和した元気都市」を目指したまちづくりを推進してまいります。

そして、市民の皆さまから「住んでいて



ジャンボこいのぼりの遊泳

良かった」「合併してよかった」と言われるよう、合併のメリットを最大限生かしながら、行財政改革や財政健全化を推進するとともに、全国トップレベルの行政サービスを目指して参ります。

特に、皆さまの命と健康を守るため、小児救急医療を含む地域医療ネットワークを構築します。

また、福祉、子育て、環境、教育など行政のさまざまな分野において、家族や地域の「絆づくり」をキーワードとした事業展開を図り、新市の一体化を推進して参ります。

今後とも、「改革」「継承」「市民との協働」を基本姿勢として、新しい加須市のまちづくりに全力でチャレンジしていく覚悟であります。そして、市民の皆さまとの信頼関係を最も大切にし、どのような課題に直面しても「誠意と熱意」を持って対応し、「公平・公正」な市政運営を進めて参ります。